

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております！

+++ CONTENTS +++

- 【1】青銀会理事リレーエッセイ 第2回 理事 黒川敦彦
- 【2】特別賛助会員様からのコメントと勉強会のお知らせ
- 【3】大学からのお知らせ
- 【4】学生会AzのVB訪問記
- 【5】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

【1】青銀会理事リレーエッセイ 第2回 寄稿:理事 黒川敦彦

～数百分の1にける情熱～

お世話になります。理事の黒川でございます。平素はNPO法人「青い銀杏の会」をご支援頂き、誠にありがとうございます。
皆様方のご支援のおかげで先日1月29日の第4回大会を盛況のもと開催させていただくことができました。重ねてお礼申し上げます。そして、大会の運営にご尽力いただきました事務局の皆様本当にお疲れ様でした。

先月始まりましたメルマガも2回目となりまして、森下理事長に引き続き、年齢の若い順ということで、若輩者ながら私黒川が務めさせていただきます。

まず私ごとで恐縮ですが、自己紹介がてら近況報告をさせていただきたいと思
います。2001年に工学部を卒業して以来、ベンチャー・ビジネス・ラボラト
リー(VBL)に籍を置き“懲りずに”この6年間ベンチャーのインキュベーション
に携わって参りました。設立に携わりました株式会社アイキャット代表取締役、
サインポスト代表取締役を歴任いたしまして、昨年の12月サインポスト創業者
である大阪大学附属病院教授の山崎義光先生が大阪大学の常勤職を退きサ
インポストに代表取締役として専任することになり、今は非常勤取締役として
引き続きサポートさせていただいております。一方VBLスタートアップ支援室
の客員研究員としての活動もささやかながら続けさせていただいております。
支援室の活動を補完するために阪大のベンチャーインキュベーションに関わっ
てきた有志のメンバーで設立された株式会社エイシーズに2003年より取締役と
して参画しております、現在の私のホームグラウンドとなっております。エ
イシーズは青銀会の会員にならせていただいておりますが、常勤のメンバーも
数人程度でございまして未だそれほど目立つ存在ではございませんが、皆様方
には今後ともご指導賜れればと存じます。

導入部分が長くなりすぎてしまいましたが、せっかくですので、シーズ発掘
から事業化のインキュベーションに関わる現場で感じることを皆様と共有させ
ていただきたいと思います。この6年間で100程度の事業化を目指したプロジェ
クトに関係させていただきました。結果3つの会社が立ち上がりました。100分
の3程度の確立で製品化にたどり着いたわけですが、3社ともブレイクイーブ
ンを目指して事業を進めています。よく“1000分の3”とかと例えられるよう
に事業のシーズが生き残る確率は“数百分の1”程度なのかもしれません。ど
こを起点に考えるかにもよりますが創業シーズが上市するのも同じぐらいの確
立でしょうから、意外と分野を問わず同じぐらいの確率な気がします。ある程
度目利きをしたり、うまく育てることによって成功の確率を上げることはでき
ると思いますが、例えば私が手がけて来たような大学発の技術シーズでは頑張
って数十分の1程度の確率です。VCの方々の投資においては通常10件に1件程
度成功する程度を目指しているわけですので、VCからの投資にたどりつくまで
にでも10倍近い競争を勝ち残らなければなりません。しかしシーズが事業化さ
れていくにはステージがあります。段階ごとに研究データを追加していったり
、協力者を募ったりと“やるべきことをやる”ことによって成功の確率を上げ
ていくことは可能です。今まで手探りながら行ってきた大学でのインキュベ
ーション活動の経験により、“やるべきこと”が見えて来た気がしています。

VBL支援室などの学内でインキュベーション活動の役割があるのだと近年つくづく思っております。

ここまでベンチャーの支援者の立場でお話させていただきましたが、個人や個々のベンチャーということで考えると「自分が数百分の1の成功にたどりつけるか？」という不安はあります。しかし事業化へのステージが進むことによって、また新しい事業シーズにめぐりあうとか、他の会社と合併して成功を目指すなど活路を見出すことはできるものです。

どのプロジェクトに関しても、中心メンバーが情熱を持ってプロジェクトをとにかく前に進める方法を考えること。今まで私が経験した範囲ですが、どんなに考えても将来を保証する戦略は見えてきませんでした。やってみなければわかりませんでした。NEDOやJSTの競争的資金においても1度2度落ちて課題を解決していくことによって採択されたというような事例もいくつもありました。必要なのは情熱を持って、ステージごとに“やるべきことをやる”ことなのだと思います。

今回は抽象的なお話になりましたが、“やるべきこと”って何？というご相談はどうぞ、青い銀杏の会事務局までお気軽にご連絡いただけましたらと思います。それでは次回の理事が担当するメルマガに期待ください。
(事務局の連絡先はメール最下層をご覧ください。)

#####

【2】特別賛助会員様からのコメントと勉強会のお知らせ

この度、青い銀杏の会 特別賛助会員様より各VBへ向けて、コメントと勉強会の情報を頂戴しましたので、紹介いたします。

#####

◎あずさ監査法人◎

あずさ監査法人は、数多くの株式公開の経験と充実した専門スタッフによる株式公開アドバイザーサービスを実施しています。これは、単に表面上の経営諸制度を整えるだけでなく、長期的な視野に立ってクライアントの現在の管理体制を診断し、改善を強力に支援していくものです。

まず公開申請会社のビジネスを理解し、株式公開を達成するために必要な問題点を整理すると共に改善案を提案します。同時に、株式公開に必要な会計・監査サービス並びに公開準備のための作業支援サービスを提供、株式公開の実現を強力にサポートしていきます。しかし、株式公開はあくまでも企業成長の一通過点にすぎません。

あずさ監査法人は、公開申請会社との強い信頼関係のもと、達成後もさらなる成長のためのサポートを行います。

今回は大阪で行われる株式上場を目指される方のための勉強会を紹介いたします。なお、詳しくは下記のあずさ監査法人ホームページをご覧ください。

◇あずさ監査法人HP <http://www.azsa.or.jp/serviceline/ipo.html>

★株式上場勉強会(大阪)★

ここ数年、新規上場会社数は堅調に推移しており、2006年上半期の上場会社数は93社と第3次ベンチャーブームと言われた1995年の77社を11年ぶりに上回り、過去最高を記録しております。

これは、資金調達手段として、また中堅企業・ベンチャー企業の成長戦略として株式上場に対するニーズが高まっていることと併せ、最近の各証券市場において環境整備が進んだこともその大きな要因となっています。

ただ一方で、新規上場会社のいくつかについて不祥事が明るみになるなど、証券市場への信頼を揺るがす事件も発生しており、さらに法制面においては内部統制監査の導入が予定されるなど、今後上場を目指す企業にとって、より高い

順法精神や規範意識が求められるようになっていきます。

このような刻々と変化する状況を踏まえ、今回ご案内する勉強会では、株式上場の現状及び上場を目指すにあたり留意すべき事項について、株式上場に係る支援機関(証券取引所、証券会社、信託銀行)の専門家が解説するとともに、弊法人の公認会計士より、会社にとって、また経営者自身にとって、株式上場を目指すにあたり準備が必要となる事項についてご説明させていただきます。貴社の成長戦略をファイナンスの観点から検討、確認いただく絶好の機会として、経営者およびご担当役職員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

◇詳細は下記URLからご確認ください。

<http://www.osaka-u.com/event/index.html>

#####

◎株式会社プロネクサス◎

ベンチャー・ビジネスの育成に日夜注力されておられる皆様、NPO法人青い銀杏の会の特別賛助会員、株式会社プロネクサスの大阪支店、尾方と申します。私どもは、平成18年10月1日付で、旧社名亜細亜証券印刷株式会社から現社名「プロネクサス」へ社名変更いたしました。

社名の由来は、「プロ」=プロフェッショナルなサービスをご提供して、お客様との「ネクサス」=きずなを築いていくという意味です。

私どものサービスの中心を、株式上場を目指される会社さん、上場後の会社様に対して、組織整備・管理運営(内部統制関係)、ディスクロージャー、IRの実務をご提供する会社として位置付けております。

特に、昨年以来サービスを開始いたしております、「プロネクサス・コンサルティング・バック」は、公開準備・ディスクロージャー・IRのご相談を一貫してお受けする、継続ご相談対応型コンサルティング・サービスでございます。このサービスには、プロネクサスが永年、上場準備会社・上場会社との間で法定書類(有価証券報告書・届出書・目論見書・総会招集通知等)の内容ご指導を重ねてきた蓄積(ノウハウ)をベースにした独自サービスです。

会社の体制整備、運営にお役立て頂けると存じますので、ご興味のおありの方はご連絡お願いいたします。

ベンチャー企業育成には、粘り腰と環境変化を機敏にとらえる感性が必要と承知いたしておりますが、環境変化に対応いただき粘り強く会社成長を目指していただくために、上記のようなツールもご一考して頂ければと存じます。

皆様方のご自愛とご成功をお祈り申し上げまして、拙い筆を置きます。

株式会社プロネクサス
大阪支店 公開業務担当部長
尾方 勝
TEL:06-6232-3711
MAIL:masaru.ogata@pronexus.co.jp

#####

=====

【3】大学からのお知らせ

=====

★平成18年度大阪大学先端科学イノベーションセンターVBL部門
公開成果発表会 開催のご案内

- 主 催:大阪大学先端科学イノベーションセンターVBL部門
- 日 時:平成19年2月27日(火) 10:00~15:50
(18:50~20:00 理系キャリアセミナーと合同懇親会)
- 会 場:大阪大学先端科学イノベーションセンター
インキュベーション棟(A棟)(吹田キャンパス)

■参加費:無料
ただし、懇親会費のみ有料(一般:2,000円、学生:1,000円)

★同時開催:理系キャリアセミナーⅤ
～新たなキャリアはここにある!～(16:00～18:40)

ホームページ:<http://www.handai-vbl.net/>

なお、発表会のポスターを添付して送らせていただきます。
発表プログラムの詳細は、上記ホームページよりご確認願います。

事前に、VBL事務局<office-VBL@casi.osaka-u.ac.jp>まで、
メールにてお申込みください。

=====

◎青い銀杏の会メールマガジン編集部では、会員企業様からのコメントや
VB紹介文、お知らせをお待ちしております。
会員同士の活発な情報交換のために、宜しくお願いいたします。

◆メールマガジン連絡先:mailmz@osaka-u.com

=====

♪♪♪

【4】VB訪問記 produced by 学生会Az

@ベンチャー訪問記 vol.1@
株式会社セキュアウェア ～安全で安心な情報社会～

株式会社セキュアウェアは阪大発のITベンチャーであり、大阪大学客員教授
・齋藤和典氏が開発した「システム乗っ取り攻撃を検知・防御するセキュリ
ティ・ソフトウェア」を技術シーズとして2004年に設立された。
現在はセキュリティ業界で世界シェア2位を持つジュニパーネットワークス
とライセンス契約を結ぶなど、その技術力は海外から高い評価を受けて注目
を集めている。

◇続きは下記URLから!
http://www.osaka-u.com/gakusei-az/venture_diary/070219.html

♪♪♪

【5】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

▼△▼△

★経営者の強い見方!『経営セーフティ共済』及び
『小規模企業共済』加入強調キャンペーン実施中!
<http://www.smrj.go.jp/skyosai/customer/e-netmagazine/018470.html>
<http://www.smrj.go.jp/skyosai/customer/e-netmagazine/018240.html>

▼△▼△

★中小企業ビジネス支援ポータルサイト「J-Net 21」
【J-Net21】
<http://j-net21.smrj.go.jp/>
【企業事例】
<http://j-net21.smrj.go.jp/info/>

▼△▼△

★ISO22000(食品安全)セミナー
■大 阪 2007年3月13日
★ISO9001(品質)、14001(環境)、Pマークなど従来のセミナー
■東 京 2007年2月20日
<http://iso-scc.com/seminor/index.html>

▼△▼△

★京都府中小企業技術センター協力会主催『M&T交流会』の開催
■2月26日(月)ホテルセントノーム京都(京都市南区東九条東山王町)
■セミナー参加費は無料 終了後の交流会参加費は有料
<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/cen/rel/coo/070226>

▼△▼△

★第40回「ロシア先端科学技術に関する ISTC Japan Workshop」
■日時:2007年3月1日(木)13:10～16:40
■会場:大阪産業創造館5F 研修室A・B 参加費:無料
<http://www.knowledge-frontier.jp/event/russian.html>

▼△▼△

★平成19年度における「通信・放送新規事業助成金」
(情報通信ベンチャー助成金)の助成対象事業の公募について
■第1回/2007年3月 6日(火)～2007年4月10日(火)
■第2回/2007年7月17日(火)～2007年8月21日(火)
<http://www2.nict.go.jp/v/v412/103/index.html>

▼△▼△

★『大学共同利用機関連携による新技術説明会』開催！
厳選された大学共同利用機関の「知」が集結！！

■会 期 :2007年3月2日(金)10:00～16:40
■会 場 :科学技術振興機構 JSTホール(東京・市ヶ谷)
■参加費 :無料[事前登録制]→ <http://jstshingi.jp/inter/>
■定 員 :各発表130名

▼△▼△

★中小企業のためのグローバル展開と海外人材活用
<http://www.kansai.meti.go.jp/2kokuji/seminor2006/seminor20070301.html>

■日 程 :2007年3月1日(木)14:00～17:00
■会 場 :大阪合同庁舎1号館第1別館2階 大会議室
■参加費 :無料 ※定員150名

▼△▼△

★IT産学マッチングカンファレンスOSAKA
～大学のITとその応用分野が見られる一日だけの出前研究室～
<http://www.neocluster.jp/cluster/user/event/conference/070305index.page>

■日 時:2007年3月5日(月)10:00～17:00
■会 場:大阪産業創造館 3階 マーケットプラザ/5階 研修室
■参加費:無料(ただし交流会は会費3,000円を徴収します)※定員1000名

▼△▼△

★第26回「オープン・ラボラトリー」～出前研究室のご案内
『明日を拓くロボットテクノロジー』
『ロボット用視覚システムの開発 と3次元ディスプレイの実現』
<http://geo.civil.eng.osaka-cu.ac.jp/OpenLab/index.html>

■日時:平成19年4月4日(水)午後1時半～5時

▼△▼△

★英国ヘルスケア通商ミッション:セミナー及びレセプションのご案内

- 日 時: 2007年3月15日(木) 13:30～19:30 参加費: 無料
- 場 所: ヒルトンホテル大阪4階 <http://www.hilton.co.jp/Osaka>
- お申込: <http://www.uknow.or.jp/be/healthcare-osaka>より、
3月1日(木)までにお申込みください。

セミナー当日3月15日(木)に、セミナー講演予定企業と個別面談の場を設けております。ご希望の方は、上記URL登録フォームにミーティングを希望する企業名、お話しを希望される概要ならびに通訳の必要有無をご記入ください。こちらより確認のご連絡を差し上げます。

▼△▼△

～編集後記～

第2回青銀会メールマガジンいかがだったでしょうか？学生部会Azで編集を担当しているKです。私は現在M2で、たった2回でしたが担当は今回で最後です。ということで、今回は少し思い出話をさせて下さい。

青銀会と出会ったのは、今から1年半ほど前の夏でした。そして、その会場で出会ったのが丁度今回の理事エッセイを執筆していただいた黒川様。当時は20代で起業している人の話を聞くのが初めてで、私は驚きと同時に何かキラキラしている姿に憧れを覚えました。

それから青銀会のお手伝いをするようになり、紆余曲折ありながら仲間たちと産み落としたのが今の学生部会Azです。私は今いる研究室とは関係のない医療系ITの分野に就職します。それはAzでの活動が教えてくれた、「できる」仕事ではなく「したい」仕事を選択した結果でした。この場を借りて、Azの仲間たちと青銀会の関係者の方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

今はまだ私もAzも低空飛行中ですが、青い空を目指して頑張って飛んでいます。その成長の過程を、皆様に見守っていただければ幸いです。

(K)

-
- ☐ 発行責任者: 青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>
 - 編集: 青い銀杏の会 学生部会Az <http://www.osaka-u.com/gakusei-az/>
 - ☐ メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com
 - 事務局問い合わせメールアドレス info@osaka-u.com
 - ☐ Copyright (c) 2007 青い銀杏の会. All rights reserved.
-